

産業建設 常任委員会

問 小勝田頭首工改修事業は
今後どのように進むのか。

答 県単事業での今年からの
調査費である。この後、水
利権等の協議があるので、
二・三年はかかりそうだ。

問 認定者農業者農地利用調
整推進事業、認定農業者経
営改善支援、中山間地域等
直接支払事業について。

答 認定農業者農地利用調整
推進事業は、旧田沢湖町の
利用調整関係の事業。認定
農業者経営改善支援費の予
算については、旧田沢湖町
分である。

認定農業者数は、角館地
区八十二名、田沢湖地区百
七十一名、西木地区九十七
名の合計三百五十名となっ
ている。

認定農業者の年金加入に

については把握していない。

中山間地区等直接支払事
業については、昨年見直し
があり、新たにスタートし
たという形になっている。
新たに指定を受ける場合は
県と協議していきたい。

問 牛・豚の頭数は。また生
ごみ等による環境汚染につ
いて。受精卵移植の補助に
ついて。

答

- ・肉牛用 百二十八戸、
- ・肥育牛 四百七十三頭
- ・乳牛 三戸、百四十九頭
- ・豚 八戸、九十六頭

千九十九頭

循環型農業の推進というこ
とがこれからの課題となる。

今後、新市の計画の中で、
進めていかなければならない
と思っている。担当課として
これからの重要な課題と考え
ている。

受精卵移植の補助は一万五
千円である。

労働費

一般総務費の他は、出稼対
策費百五十六名就労前の健康
診断・広報の送付代・等に支

出されている。

その他従業員技術習得及び
資格取得研修事業費等であ
る。

商工費

一般商工総務費の他商工業
振興対策費、特産物販売関係
として、平成七年度から横浜
で行われている「山の楽市」
等に対し支出され、仙北市の
知名度アップと特産品や地場
産品の販売促進に対し成果を
上げている。

特産品の開発に対しては、
引き続き取り組みの強化する
べきである

観光費

観光の市をめざす仙北市と
して、観光地としての魅力を
引き出すためにも、創意工夫
し、マンネリ化を防ぎながら
充実した運動をしてほしい。

一日も早く東北一の観光地
になることを望むものだ。

桜振興費

樺細工費と伝統工芸樺細工
技能後継者育成事業費につか
われている。

伝承館費

職員給与と管理運営費が主
なものである。

農業委員会費

委員報酬、職員給与が主な
ものである。

農業振興費

あなたと地域の農業夢プラ
ン応援事業、新山村振興等農
林漁業特別対策
事業、花葉館周
辺整備用地取得
事業、グリーン
ツーリズム推進
事業等にあてら
れている。

観光とむすび
ついた農業振興
を進めていくべ
きである。

畜産振興費

自給飼料増産
総合対策事業、
家畜導入事業、
肉用牛特別導入
事業基金繰出金
等である。家畜
排出物と生ゴミ

の処理を考えた、堆肥センタ
ーの建設を進めるべきであ
る。

土木費

冬期交通対策費、道路改良
事業費、道路舗装事業費、中
央線道路改良事業費、平和橋
架替事業費等が主なものであ
る。



堆肥と生ゴミのリサイクルを期待する（堆肥センター）